

科目名：母性臨床看護Ⅰ		必修	1単位(45時間)	
(Motherly clinical nursing Ⅰ)				
履修年次/時期：2年次 前期		授業形態：講義		
主担当教員：久保 貴巳子				
主担当教員詳細：(看護師・助産師の実務経験等5年以上あり) 母性看護に必要な知識・技術が身につけられるよう教授する。				
担当教員名：村井 みどり				
学修目的	母性看護学の対象である女性とその家族を援助するために、妊娠期・分娩期・産褥期および新生児期各期の生理的变化と疾病を学び、必要な知識・技術の根拠と原則の理解ができる。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP4 科目No. KNI-221			
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 健康支援を通じ、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	-	
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	-	
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	-	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	① 正常に経過する妊娠・分娩・産褥期および新生児期の基礎的知識が修得する。 ② 妊娠・分娩・産褥期および新生児期にある対象が、正常から逸脱しない予防法と看護のあり方を考える。 ③ 正常から逸脱した妊娠・分娩・産褥期および新生児期の疾病と治療法について基礎的知識を修得する。		
授業概要	妊娠・分娩・産褥及び新生児の生理的变化、各期の異常な経過を学ぶ。妊娠の成立から分娩・産褥期における身体的・心理的变化、起こりやすい健康問題・マイナートラブルと治療・新生児の適応について学ぶ。			
評価方法	定期試験(100%) 評価に対するフィードバックは掲示で行う			
予習・復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間			
教科書	系統看護学講座 母性看護学 2. 母性看護学各論 医学書院			
参考書	1. 増崎英明・最相葉月：胎児のはなし、ミシマ社 2. 中田雅彦：お母さんと赤ちゃんの生理とフィジカルアセスメント、メディカ出版 3. 平澤美恵子他：写真でわかる母性看護技術アドバンス、インーメディカ 4. 太田操著：ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程第4版、医歯薬出版 その他は授業の中で適宜紹介します。			
オフィスアワー 連絡先	村井みどり 9:00-17:00 3号館3階研究室 m.murai@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください 久保貴巳子 9:00-17:00 3号館3階研究室 k.kubo@kdu.ac.jp 不在時はメールしてください			

実施回	第1回	実施日	2026/04/22	時限	3	班	
授業計画	ガイダンス ①科目の目的、目標、学習内容や方法がわかる。 妊娠期の看護 ①正常な妊娠の経過を説明できる ②妊婦・胎児の健康と生活のアセスメントに必要な項目を説明できる ③妊婦と家族への看護を説明できる	予習	シラバスを読む テキスト第3章 A.Cを読む				
		復習	「人体の構造と機能Ⅱ」を確認すること。 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の正常編に関する学習範囲				
		キーワード	妊娠期の定義 妊娠の成立 妊娠の経過と胎児の発育 母体の生理的変化 妊婦と家族の心理・社会的変化 不快症状 妊娠週数 健康状態 食事 栄養 排泄 活動と休息 レオポルド触診法 妊婦健康 NST				
授業形態	講義	担当	久保				

実施回	第2回	実施日	2026/04/23	時限	2	班	
授業計画	妊娠期の健康問題に対する看護 ①不育症、流産、早産の看護を説明できる ②妊娠期の感染症と看護を説明できる ③常位胎盤早期剥離、前置胎盤、妊娠高血圧症候群と看護を説明できる ④妊娠糖尿病、胎児機能不全、妊娠貧血、妊娠悪阻と看護を説明できる ⑤出生前診断と看護を説明できる	予習	テキスト7章 A～Eを読む				
		復習	講義内容を振り返る				
		キーワード	ハイリスク妊娠、流産 早産 妊娠悪阻 感染症 常位胎盤早期剥離 前置胎盤 妊娠高血圧症候群 妊娠糖尿病 出生前診断 骨盤位 横位 斜位 胎児機能不全				
授業形態	講義	担当	村井				

実施回	第3回	実施日	2026/04/30	時限	2	班	
授業計画	分娩期の看護 ①正常分娩経過を説明できる ②産婦・胎児の健康のアセスメントに必要な項目を説明できる ③産婦と家族への看護を説明できる	予習	テキスト4章 Aを読む				
		復習	講義内容を振り返る				
		キーワード	分娩の3要素 分娩の機序 分娩第1期・2期・3期 フリードマン曲線 産痛 緩和法 分娩経過と看護 胎児心拍モニタリング リード理論 分娩入院時の外 診内容 胎児付属物 出産環境 呼吸法(ラマーズ法)				
授業形態	講義	担当	久保				

実施回	第4回	実施日	2026/05/07	時限	2	班	
授業計画	分娩期の健康問題に対する看護 ①前期破水と看護を説明できる ②帝王切開分娩と看護を説明できる ③分娩時異常出血と看護を説明できる ④胎児機能不全と看護を説明できる ⑤陣痛異常と看護を説明できる	予習	テキスト第7章を読む				
		復習	講義内容を振り返る				
		キーワード	前期破水 骨産道・軟産道の異常 微弱陣痛 過強陣痛 骨盤位 横位 斜位 異常出血 帝王切開術 胎児機能不全				
授業形態	講義	担当	久保				

実施回	第5回	実施日	2026/05/14	時限	2	班	
授業計画	産褥期の看護 ①正常な産褥の経過を説明できる ②褥婦の健康と生活のアセスメントに必要な項目を説明できる ③褥婦と家族への看護を説明できる	予習	テキスト6章を読んでおくこと				
		復習	講義内容の振り返り				
		キーワード	退行性変化 進行性変化 子宮復古 悪露 乳汁分泌 育児技術 育児不安 新 生児の定義 原始反射 ハイリスク児 アプガールスコア シルバーマンスコア 母子相互作用				
授業形態	講義	担当	久保				

実施回	第6回	実施日	2026/05/21	時限	2	班	
授業計画	産褥期の健康問題に対する看護 ①帝王切開術後と看護を説明できる ②子宮復古不全と看護を説明できる。 ③産褥熱と看護を説明できる ④乳腺炎と看護を説明できる ⑤産後精神障害と看護を説明できる ⑥尿路感染、排尿障害と看護を説明できる ⑦母子分離、児を亡くした褥婦・家族の看護を説明できる	予習	テキスト7章を読む				
		復習	講義内容の振り返り				
		キーワード	肺塞栓 子宮復古不全 産褥熱 乳腺炎 産後うつ 帝王切開術後 死産 障害 をもつ新生児を出産した親				

授業形態	講義	担当	久保
------	----	----	----

実施回	第7回	実施日	2026/05/28	時限	2	班	
授業計画	早期新生児期の看護 ①早期新生児の特徴と生理的变化の説明ができる ②早期新生児の健康と発育のアセスメントに必要な項目を説明できる ③早期新生児と家族への看護を説明できる	予習	テキスト5章 B,7章Ⅲを読む				
		復習	講義内容の振り返り				
		キーワード	アプガールスコア 成熟度の評価 バイルサイン 生理的体重減少 生理的黄疸 新生児マスキング 気道の開通 保温 保育環境				
授業形態	講義	担当	久保				

実施回	第8回	実施日	2026/06/04	時限	2	班	
授業計画	早期新生児の健康問題に対する看護 ①先天異常の新生児と看護を説明できる ②早産児、低出生体重児と看護を説明できる ③新生児一過性多呼吸と看護を説明できる ④呼吸窮迫症候群と看護を説明できる ⑤胎便吸引症候群と看護を説明できる ⑥高ビリルビン血症と看護を説明できる ⑦新生児ビミンK欠乏症と看護を説明できる ⑧低血糖症新生児と看護を説明できる	予習	テキスト第5章B～Eを読む				
		復習	講義の振り返り				
		キーワード	新生児の診断 低出生体重児 TTN RDS MAS 高ビリルビン血症 新生児ビミンK欠乏症 出血症 低血糖症				
授業形態	講義	担当	久保				